

ももそのだいにしょうがっこう

桃園第二小学校

かいちくすいしんいんかい

改築推進委員会ニュース

だいごう
第4号

発行：桃園第二小学校改築推進委員会

このニュースは、「桃園第二小学校改築推進委員会」(以下「推進委員会」)における協議の状況を、保護者や地域の皆様にお知らせするために発行するものです。今号は、令和6年7月4日に開催された第4回推進委員会における協議の概要をお知らせします。

※掲載内容は開催日時点の情報です。設計内容やスケジュール等に変更となる場合があります。

新校舎等整備の想定スケジュール

中野区は、新校舎等整備についての、基本構想・基本計画を令和5年9月に策定しました。現在は、具体的な施設配置や、建物の平面・空間の構成や機能等について明確にする基本設計の策定に向けて検討を進めています。

【スケジュール】令和6年3月頃～10月頃

令和6年11月頃～令和8年5月頃

令和8年度～令和11年度

基本設計

実施設計

改築工事

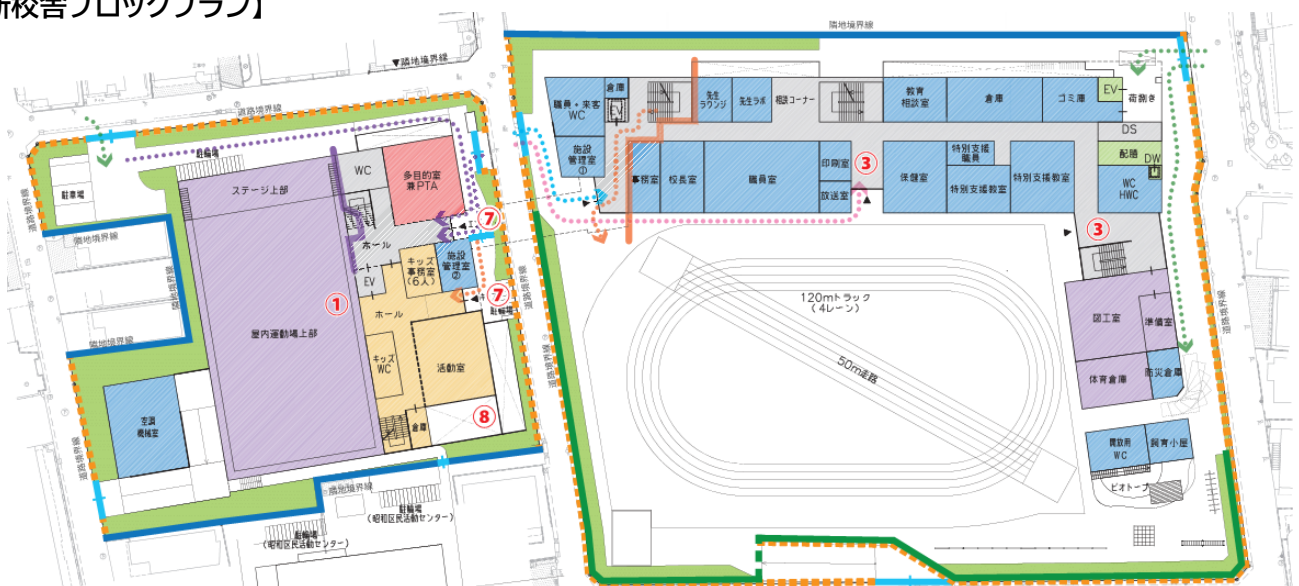
※スケジュールは変動する可能性があります。



基本設計の検討について

教育委員会事務局より、新校舎のブロックプラン(間取り)や、基本計画からの変更点等について説明がありました。

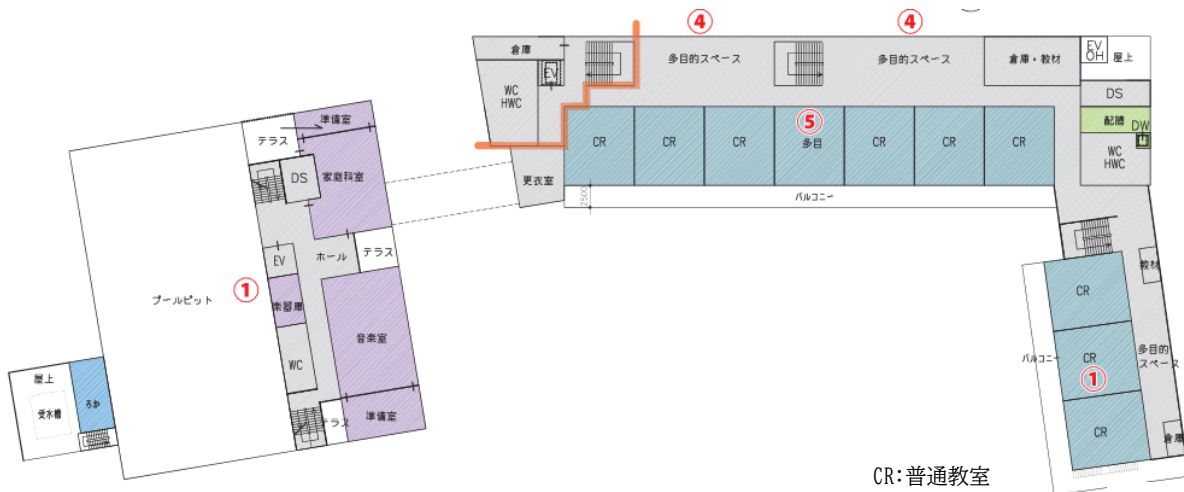
【新校舎ブロックプラン】



1階平面図

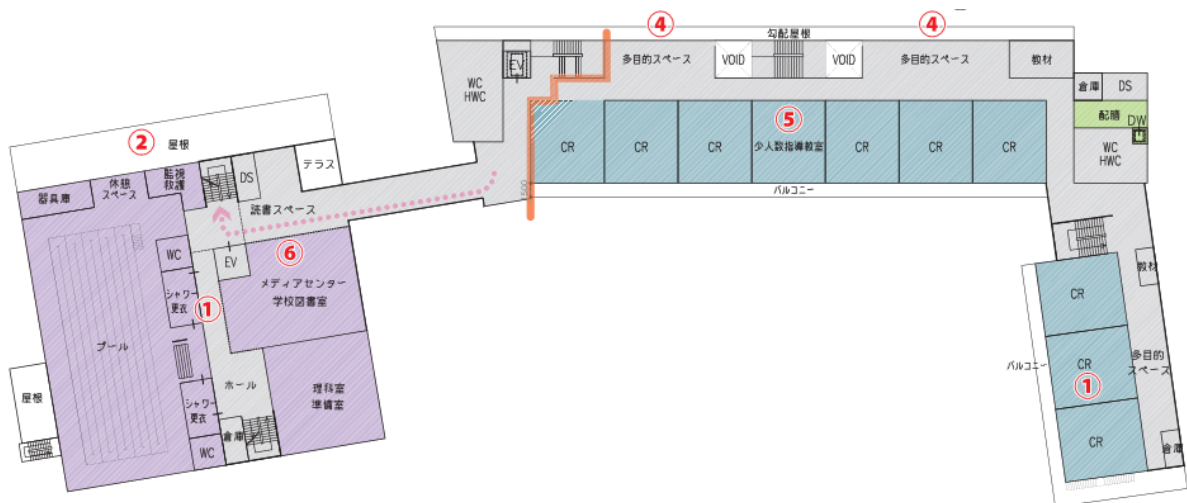


ちか かいへいめんず
地下1階平面図



CR:普通教室

かいへいめんず
2階平面図



かいへいめんず
3階平面図

基本計画からの主な変更点

- ① 屋内運動場棟の配置を南北に変更し、特別教室と東校舎普通教室を校庭側配置に変更することで、全教室から学校全体の活動を見渡せるようにし、見守りによる安全性を向上。
- ② 屋内運動場のステージを北側に設置し、騒音対策を実施。
- ③ 校庭からの出入口と校舎内の階段を近くし、児童の移動時間を短縮。
- ④ 校舎北側に多目的スペースを確保し、空間を有効活用。
- ⑤ 東校舎中央棟のスパン(柱の間隔)割を6から7スパンへ拡張し、教室数をより確保。
- ⑥ 特別教室の配置を変更し、図書室や理科室を日常動線に近い場所に配置。
- ⑦ 屋内運動場開放施設とキッズ・プラザの出入口を東側とし、住宅側に人がたまるのを防止。
- ⑧ キッズ・プラザと学童クラブのエリアを吹き抜けでつなぎ、開放的で管理しやすい環境を創出。

学童クラブとキッズ・プラザについて

所管である育成活動推進課としては、新校舎の学童クラブは80名定員を確保したいと考えていますが、スペースの制約もあるため、他の民間学童クラブや児童館等の利用も考慮しながら、地域全体で放課後の居場所の需要を満たす方法を考えていくとの説明がありました。

委員からの主な意見・要望

ブロックプランについて

- 屋内運動場を南北配置にした理由を教えてください。
- ⇒2、3階の特別教室を東側に配置して校庭を見渡せる方が教育環境上望ましいと考えて、屋内運動場を南北配置としました。

学童クラブとキッズ・プラザについて

- 新校舎の学童クラブとキッズ・プラザは需要が増えると思うので、他の施設の活用なども含め検討を進めてほしい。

⇒具体的な設計やスペースの確保については、今後検討していきます。

- 学童クラブの定員は80名で足りるのか。

⇒現在の桃園第二学童クラブの定員は76名で、76名の児童が在籍しています。80名であれば地域の学童需要は充足できると見込んでいます。

- 学童クラブの1人あたりの基準面積はどれくらいになるのか。

⇒1人あたり1.65㎡です。

- キッズ・プラザができれば、校庭遊び場開放事業は無くなり、キッズ・プラザの管轄の中で校庭を開放することになるのか。

⇒キッズ・プラザ事業に統合することになります。

校庭の整備について

○何のために人工芝で整備するのか。

⇒一足制(※)に伴って人工芝で校庭を整備します。雨や雪が降った後でも、水溜まりやぬかるみが発生しないことや、体育の授業の際の教員のライン引きの負担が軽減される等、教育活動上のメリットがあります。また、下駄箱が不要になり、他のスペースが増えるといったメリットがあります。

※一足制…上履きを廃止し、通学時の靴を履き替えることなく校舎、校庭その他の併設施設等の利用を可能とする制度。昼休みや体育の授業等で、靴の履き替えがない分、運動時間が確保できる。

○人工芝は健康や環境への影響を心配しているがどのように考えているか。

⇒健康や環境への影響についても注視し、人工芝とする場合は、それらも考慮し製品を選定します。

○人工芝になると、火気の使用や飲食を伴う地域イベントができなくなってしまうのか。

⇒校庭が人工芝になっても、大走り部分では火気の使用が可能です。飲食を伴うイベントについてはブルーシート等で養生した上で実施いただくことを想定しています。

○人工芝の上にお祭りの櫓を設置することはできるのか。

⇒人工芝の上にコンクリートパネル等を敷設すれば、櫓を設置することは可能です。

○運動会等の行事で人工芝の上にテントを設置することはできるのか。

⇒テントを設置することは可能です。

○人工芝では野球を実施することができないのか。

⇒人工芝でも、トレーニングシューズや底がプラスチック又はゴム製のスポーツシューズを着用していれば、野球をすることは可能です。

○人工芝は、キャンプファイヤーなどの地域イベントが制限される可能性があるので反対である。土への設計変更はできるのか。

⇒土への変更は大幅な設計変更となり、整備スケジュールに大きな影響があるため難しいかもしれませんが、意見を踏まえて再度検討し、改めて推進委員会を開催したいと考えます。

委員の変更について

推進委員に変更がありました。新しい委員は、以下の3名です。

PTA推薦	太田 晃子	委員 (桃園第二小学校PTA会長)
校長推薦	小田嶋 歩	委員 (昭和・東中野地区主任児童委員)
学校	山田 研二	委員 (桃園第二小学校校長)

桃園第二小学校改築推進委員会ニュース

編集・発行: 桃園第二小学校改築推進委員会

事務局: 中野区教育委員会事務局学校再編・地域連携係

メール: gakkorenkei@city.tokyo-nakano.lg.jp

次回の推進委員会の開催については、
決まり次第、教育委員会ホームページでお知らせします。

※推進委員会の会議要旨は、区役所7階教育委員会事務局学校再編・地域連携係または教育委員会ホームページでご覧になれます。